

道産子が伝える防災・減災

～高校生防災リーダーとして私たちができること～



標津町について①



約410km

札幌市

標津町

- 冬は雪が多い
- 頻繁に地震が起こる

標津町について②

■酪農が盛ん

乳牛飼養頭数約20,506頭(人口の約3.8倍)

■サケがよく獲れる

漁獲量約4,114t(137万尾)※H27

■クマが頻繁に出没する

クマの生息数は平成24年時点で推定400～500頭

■世界遺産の知床半島がある



こんな地域だから・・・

「地域の災害は地域で守る」



高校生が主体となって防災活動を行う

目次

1. 成果
2. きっかけ
3. 今までの活動
4. 高校生防災リーダーの育成
5. 学んだこと
6. HUGについて
7. 今後の夢

成果

「自分達自身も防災・減災に関する理解を深め、高校生防災リーダーとして学んだことを生徒や地域の人達に伝えることができた」

きっかけ

福島県に災害復興支援ボランティアへ

- 実際に被災地に行き、災害の恐ろしさについて学んだことで防災・減災の大切さについて知り、それを広めたいという意識が高まった



今までの活動

～高校生防災リーダーになるために～

福島ボランティア

東日本大震災の復興支援ボランティア

奥尻島研修

北海道南西沖地震について学ぶための研修

段ボールベッド
組み立て

実際に段ボールベッドをいくつも組み立てる練習

今までの活動

～高校生防災リーダーになるために～

HUG
(避難所運営ゲーム)

PTAの方や他校の生徒と交流しながらのHUG

校内物品確認

校内にある物品を確認し、高校が避難所になった際に何が使えるかを確認

町役場でのプレゼン

今までの活動の報告と高校への備蓄のお願い

防災リーダーとしての役割を担う



高校生防災リーダーとして

地域の人たちとHUGを通して交流し、

「備える」ことの大切さを伝える!

町全体の防災意識を高める



生徒会

標津高校

標津町

「災害はいつ起こるかわからない」

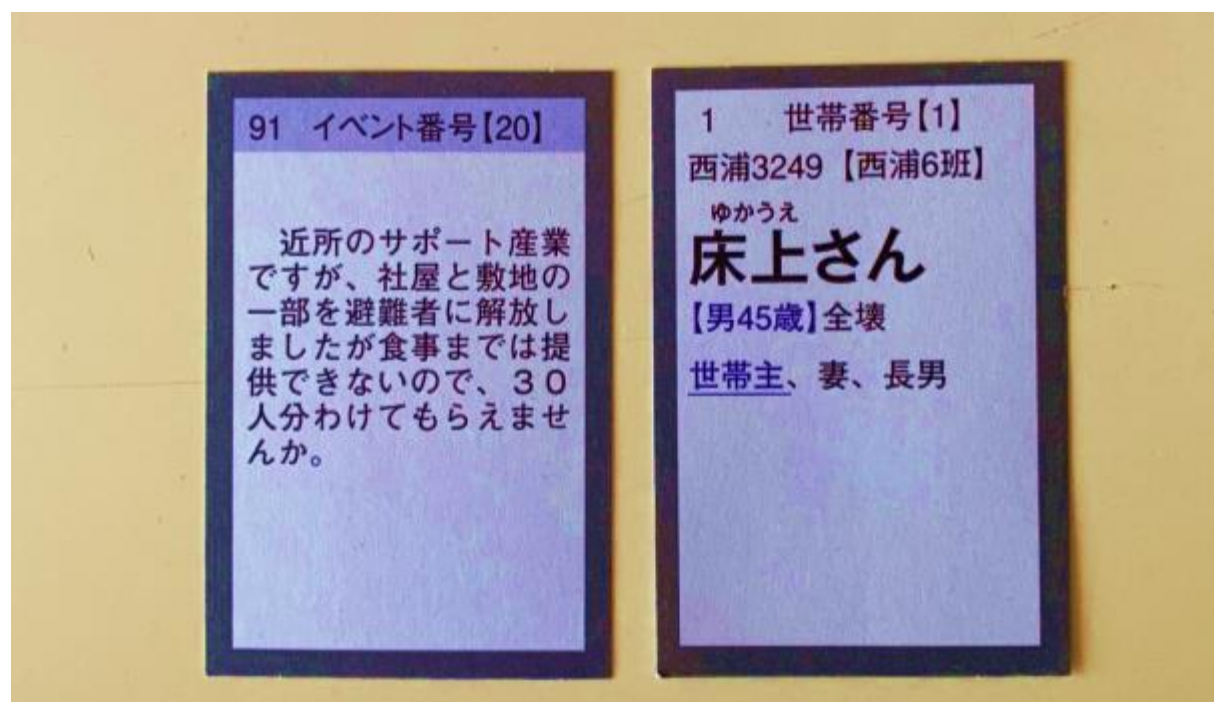


📣 備えるのが大切!

備えるために・・・

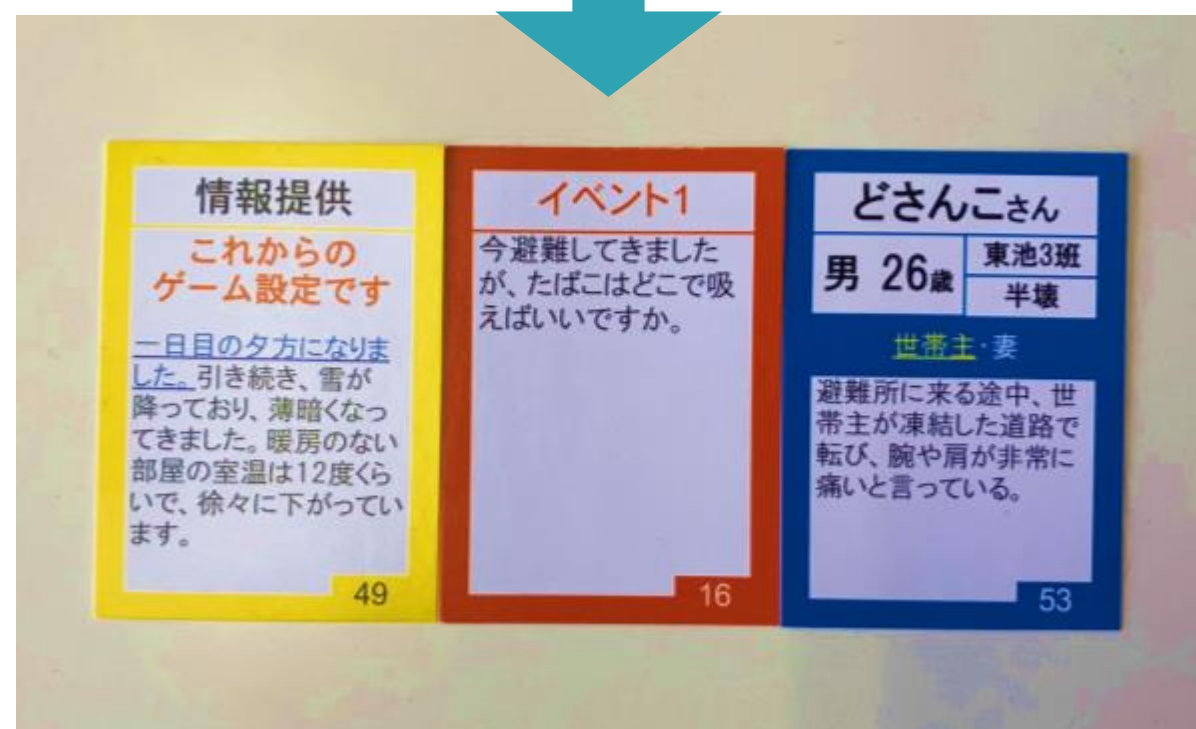
HUG

HUGについて



■一般的なHUG

静岡県の静岡県地震防災センターが考案した避難所運営ゲーム。



■北海道版のHUG (Do HUG)



雪・吹雪・積雪
氷点下の気温

オリジナルHUG

- 自分たちの住んでいる地域に合った内容のHUGカードを作成



- その地域でより現実的な設定のシミュレーションできる



オリジナルHUG 詳細

■ イベントカード

「クマの足跡がありました」

■ 情報提供

「外の気温は氷点下9°C、室温は氷点下3°Cとなりました。」

■ 住民カード

「ベトナム人実習生。同じ会社の実習生と避難してきた。

カタコトの日本語を話せる。」



リアルHUG

- HUG内で行ったことを実際に学校で試す



- リアルに避難所運営のイメージがしやすい

リアルHUG 詳細

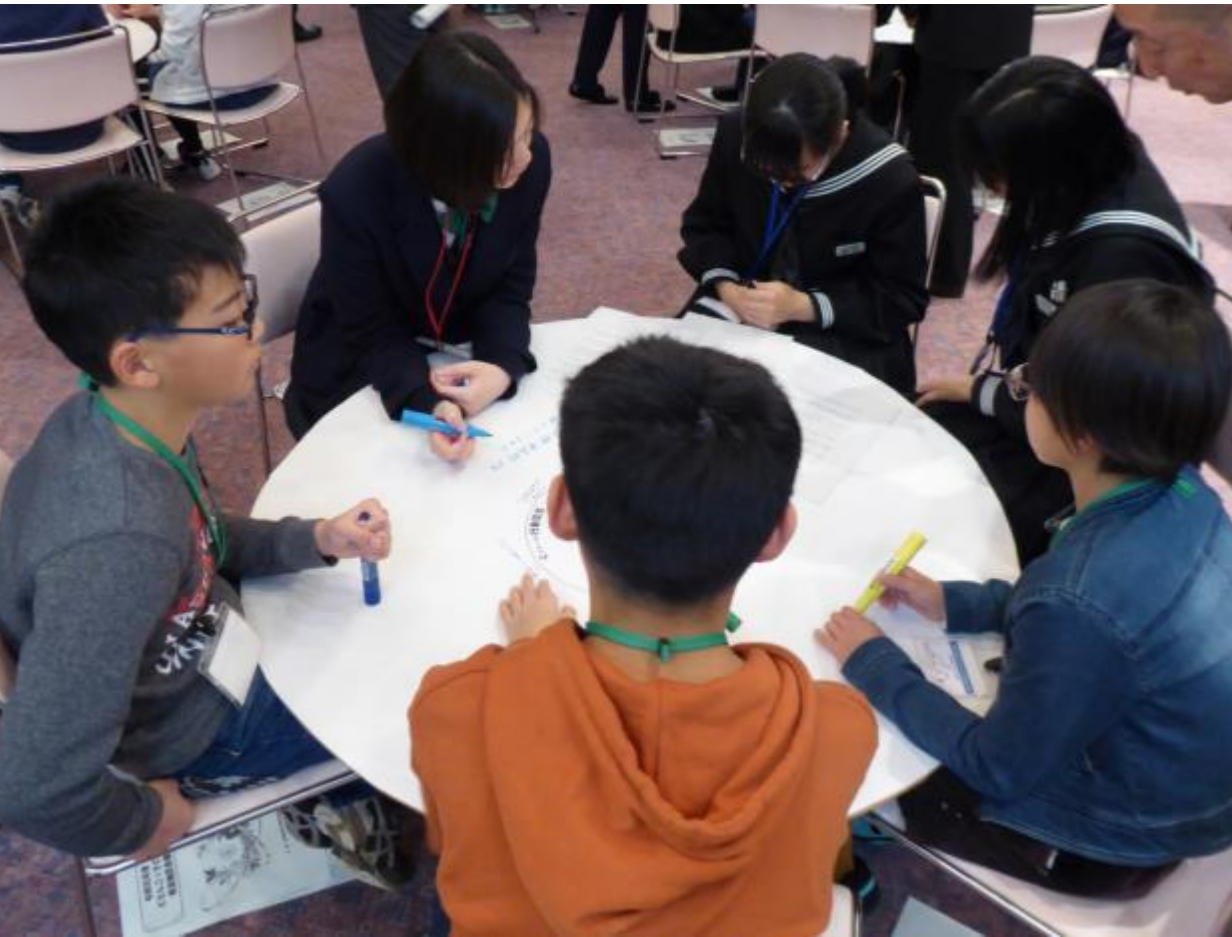


- 12/26実施
- 約50人が参加(全校生徒の3分の1)
- 学校の備品がどう使えるかを考える

・・・というわけで

「自分達自身も防災・減災に関する理解を
深め、高校生防災リーダーとして学んだこと
を生徒や地域の人達に伝えることができた」

今後の夢～高校生防災リーダーとしてのこれから～



- 小学生や中学生にも防災減災の大切さを伝えたい
- 他校の生徒と交流し、防災活動の幅を広げたい
- 地域住民とHUG→リアルHUG

ご清聴ありがとうございました